

問 行財政改革前進へ

答 再配置計画の委託費を計上



朝日 将貴 議員 無党派

人口減少社会に対応し、

将来負担の軽減のため、新

庁舎建設、JR・名鉄駅橋

上化事業で圧迫される財政

運営の中、行財政改革は待

ったなしの課題である。

問 公共施設再配置計画の概要とは。

答 秘書企画課長 効率

的・効果的な維持・管理・

運営方法、施設配置を実現

するための計画。

問 いつ市民に示すことが

できるか。

答 秘書企画課長 来年

度から計画の策定作業に入

り、公表時期は31年度末頃

を予定。

問 スピード感を持って対

応すべきと考えるか。

答 市長 来年度から担

当所管の人員も増員し、約

1800万円の委託費を

計上し、専門家の力を借り

ていきたい。

問 保育所民営化について

の市長の見解は。

答 市長 現在のところ

考えてはいない。

問 ネーミングライツなど

多様な広告事業や電気調達

の見直しを積極的に行うべ

きと考えるが市長の見解は。

答 市長 これまでも歳

入増や歳出削減に努めてき

た。今後、桑名市も参考に

していきたい。

過去の質問から、ふるさと

と納税について市は、「返

り品競争のようで、本来の

制度趣旨と違っていること

から、本市は返り品の措置

を行っているが、以下を問う。

問 現在、本市のふるさと

納税にかかる収支は。

答 総務部長 27年度は

マイナス1411万円。28

年度はマイナス2752万

円。

問 収支に対する対策をす

べきと考えるか。

答 市長 現状実施

していない。過度な返

り品を自粛するよう通

達が出たため、今年度

は縮減すると考えてい

る。

問 多額のマイナスが

出ている状況を放置す

べきでない。責任感を

持つて対応すべきと考

えるか。

問	ふるさと納税の弊害は
答	マイナス2752万円



▶総務省ふるさと納税ポータルサイトより